

不登校の理解・対応

2011前期勉強会3 5.14

教職センター 曾山和彦

1

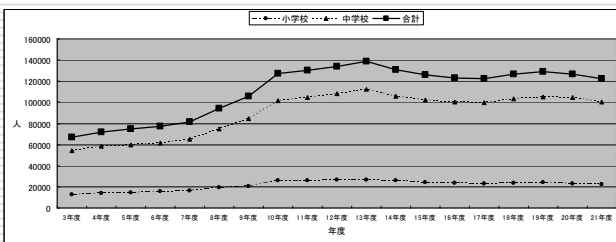
不登校の定義

- 不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)をいう
- 年間30日以上欠席によりカウント

* 文部省1992:学校不適応対策調査研究協力者会議報告では、「不登校」ではなく「登校拒否」の文言であった。1998から「不登校」に修正)

2

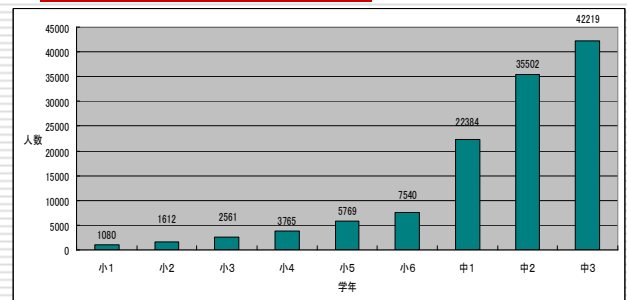
H21不登校児童生徒数(30日以上欠)



20、21年度連続微減(約12万2千人)。しかし、学校現場からは、家庭教育力低下、人間関係苦手な子ども増加等の声あり。

3

H21学年別不登校児童生徒数



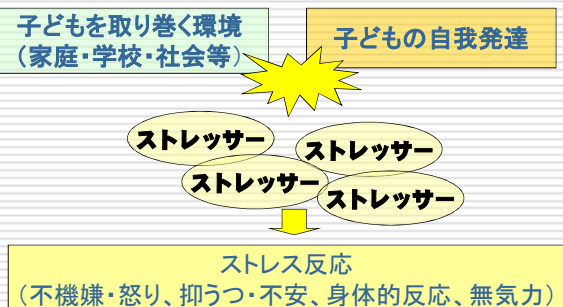
中1プロブレム;不登校が3倍に跳ね上がる!

不登校の分類(文部省1988)

- 不安などの情緒的混乱型(神経症型)
- 無気力型(怠学・アパシー型)
- 学校生活起因型(客観的理由型)
- あそび・非行型
- 意図的拒否型
- 複合型
- その他

5

不登校発生のメカニズム



6

不登校予防・対応の視点

あたたかな人間関係づくり
教室の「空気」づくり・雑談できる場づくり

ソーシャルスキル&自尊感情の育成

児童生徒本人だけでは
克服できない環境除去

7

不登校の基本的な考え方

成長・発達課題

成長・発達の後、「結果として」登校

一人一人に異なる対応

特効薬はなく、日常の積み重ねがポイント

学校・担任とのパイプが再登校の必要条件

解決策を与えず、共に考える姿勢で

不登校の子どもの現状理解

そうせざるを得ない

強い不安

娯楽に没頭

一番安全な夜

暴力にも理由

嘘ではない言葉

理解してはじめて対応が考えられる

9

ガソリン補充

自尊感情、ソーシャルスキル

- カウンセリング基本5技法
- ジョイニング
- リソース探し
- 例外探し
- スケーリング・クエスチョン
- 勇気づけ 等

10

基本5技法

基本は傾聴「あの人が頷くだけで出る勇気」

受容

繰り返し

明確化

支持

質問

11

ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に
波長を合わせる

失敗例

そんなに落ち込まないで、ポジティブに考えよう！！

そう思えたら相談に来てないわよ

相談するのやめよう

いつも失敗ばかりなんだから
.....

12

リソース探し

人は誰でもリソース(資源)を持っている
いつでもどこでもリソース、リソース

あの子のリソースは
〇〇と〇〇...



リソースを探して、
「褒める・勇気づける・認める」
ちょっとしたお手伝いなどに「ありがとう」

無理に褒めず.....

13

例外探し

うまくやれていること(例外)はきっとある！
100%「問題」ということはない！

教室に行って
勉強できない



水曜日に数回
教室に行けた

例外の責任追及
どうやったら、〇〇できたのですか？

14

スケーリング・クエスチョン

教室に行けていた時期を10点とすると
今は何点くらい？

4点くらいかなあ

0点ではなくて4点という、その4点分は
いったい何？

15

具体的明示法

不登校生徒の高3進路面接場面で
どのように言葉をかける？

卒業後の進路のこと、どう考えてるの？ ×

16

ガソリンチェック

「車」を動かせるかどうかのチェック

外出は？

生活リズムは？

手伝いは？

退屈してる？

学校への関心は？

エネルギーは？

17

車を動かす

いよいよ、「車」を動かす段階

学力・体力補充

受け入れ確認

段階登校・教室復帰訓練

条件が整えば
車は動く！！

